

「若者の海外旅行離れ」を読み解く

—観光行動論からのアプローチ—

2014年12月刊 A5判・262頁・本体2500円＋税
ISBN 978-4-589-03636-0 C1034



中村 哲 玉川大学観光学部准教授
西村幸子 同志社大学商学部准教授
高井典子 文教大学国際学部准教授

2000年代後半の日本で 注目を集めた 「若者の海外旅行離れ」を総括した 観光行動論の本

統計資料、若者を対象とした調査データを豊富に収録。
日本人の若者の海外旅行に対する意識と行動の実態に
迫る。



Horitsu Bunka Sha

発行 法律文化社

〒603-8053 京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町71
TEL: 075-791-7131 FAX: 075-721-8400

目次

序章 観光行動論から見た「若者の海外旅行離れ」

—本書の背景—

《本書で紹介する調査データについて》

第1部 「若者の海外旅行離れ」とは何か

第1章 「若者の海外旅行離れ」の登場

—統計データから読み取れること—

Column① 日本人の海外旅行はどう変わってきた？

Column② 各国の出国率比較からわかること・わからないこと

第2章 「若者の海外旅行離れ」「騒動」の記録

—マスメディア・旅行会社・政府はどう反応したのか？—

Column③ 若者論・消費論に見る「若者の海外旅行離れ」

第2部 若者の海外旅行の実態

第3章 若者の海外旅行を俯瞰する

—アンケート調査から読み取れること—

Column④ 旅行会社による若者向けツアー

Column⑤ 海外旅行に関する情報探索とソーシャル・メディア

第4章 若者の海外旅行の変化を見る

—1991～2005年の大学生データ分析—

Column⑥ 他の国の若者はどうなの？

第5章 若者の海外旅行経験を探る

—これまでどのような旅行をしてきたのか？—

Column⑦ 人気の旅行先はどこか？

第6章 若者の生の声を聞く

—インタビュー調査から読み取れること—

Column⑧ 若者は旅行会社に何を期待しているのか？

第3部 観光行動論による「若者の海外旅行離れ」研究

第7章 観光行動論の研究の進め方 —方法と手続き—

第8章 これまでの研究でわかっていること

—観光行動の意思決定プロセスに関する理論—

第9章 人によって違う「行かない理由」

—阻害要因に関する理論と検証—

第10章 「行かない理由」は変わらないのか？

—阻害要因の知覚変動のメカニズム—

第11章 「行く」「行かない」を説明するモデル

—海外旅行の実施頻度に関する動態的循環モデルの提示—

第12章 モデルをデータで検証する

—「海外旅行の実施頻度に関する動態的循環モデル」の検証—

終章 「若者の海外旅行離れ」とは何だったのか

—観光行動論が示す打開策—

あとがき —ワカタビ研究のつくり方—

書
文
注

取扱店

法律文化社

著

中村 哲・西村幸子・高井典子 著

「若者の海外旅行離れ」を読み解く
—観光行動論からのアプローチ—

ISBN 978-4-589-03636-0 C1034 ¥2500E

定価 本体2500円＋税

注文